

進路便り

2009年5月7日

清友高校進路指導部

努力は人を裏切らない

体育祭も熱気のうちに終わりました。今度は自分の進路実現に向け、このエネルギーを最大限つぎ込んでいく時期です。

就職試験は9月16日から始まります。公募制推薦受験は10月からスタートします。あと、5ヶ月しかありません。

既に目標を定めて、自分なりの取り組みを始めている人もいます。しかし、まだまだ少数派のようです。多くの人は、目標はあるのだが、まだまだ手つかずの状態の様です。今から、半年後の進路実現に向けて、みんなで頑張る気持ちと体制を作りたいものです。頑張るのは今しかありません。

進路は自分の力で勝ち取るものです。努力の末得られたものだからこそ、価値のあるものです。努力しないで得たものは何の価値もありません。「努力は人を裏切らない」といいますが、努力は人間を大きくさせます。また結果は後からおのずとついてくるものです。

まず中間考査に全力投球・評定平均値を上げよう

評定平均値の重要性

①学校推薦（就職・指定校推薦）の選考基準は評定平均値を基に3年間の出欠状況を加味して決定します。第一志望の進学・就職先の推薦を得るために、評定平均値を上げるチャンスはあと2回の考査しかありません。

②泣くに泣けない推薦基準

指定校や看護系学校の推薦入試には厳格な推薦基準があります。この基準にわずかでも届かない場合は推薦できません。

15日からの中間考査まで、あと1週間です。2学期に試験を受ける場合、**3年次の成績は1学期の評価で決まるので、今までの考査の3倍の重み**があるのです。中間考査で弾みをつければ、**評定平均値を大きくアップ**させることが可能です。

参考例 29期で3年の4月から看護師希望に変更した生徒の例

1. 2年の評定平均値は2.7

看護専門学校の推薦基準はほとんどが3.5以上、しかしわずかだが、3.0の学校もある

1・2年の評定平均2.7 + 3年1学期の評定平均4.2 → 3年間の評定3.2

受験資格獲得 → 合格

